

令和 6 年度

事 業 報 告 書



社会福祉法人 博愛会

I 事業概要

1 概要

II 事業実績

- 1 高齢福祉部 【介護老人福祉施設博愛苑】
- 2 高齢福祉部 【短期入所（予防短期入所）生活介護博愛苑】
- 3 地域福祉部 【デイサービスセンター博愛苑】
- 4 地域福祉部 【グループホームみのりの里】
- 5 地域福祉部 【居宅介護支援事業所博愛苑】
- 6 地域福祉部 【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】
- 7 地域福祉部 【みのかや運動処よらいや】
- 8 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえ A型】
- 9 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえ B型】
- 10 障がい福祉部 【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】
- 11 障がい福祉部 【生活介護ときぞう】
- 12 障がい福祉部 【相談支援事業所りんく】

III 利用状況

- 1 高齢福祉部 【介護老人福祉施設博愛苑】
- 2 高齢福祉部 【短期入所（予防短期入所）生活介護博愛苑】
- 3 地域福祉部 【デイサービスセンター博愛苑】
- 4 地域福祉部 【グループホームみのりの里】
- 5 地域福祉部 【居宅介護支援事業所博愛苑】
- 6 地域福祉部 【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】
- 7 地域福祉部 【みのかや運動処よらいや】
- 8 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえ A型】
- 9 障がい福祉部 【就労継続支援事業所あそしえ B型】
- 10 障がい福祉部 【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】
- 11 障がい福祉部 【生活介護ときぞう】
- 12 障がい福祉部 【相談支援事業所りんく】

IV 事業報告の付属明細書

I 事業概要

1 概要【法人】

コロナウイルス感染症の5類移行から2年が経ち、世間の取り扱いも随分緩和されてきたことから、入居施設内を除いたマスク着用の義務付けを解除、また入居施設のご家族の居室面会も再開し、まだまだ100%とは言えませんが、以前のような様々な活動・関わりの機会が増えつつあります。

「笑顔と安心の輪を広げる」の法人理念のもと、全ての事業所において継続的に質の高いサービス提供、組織改変の検証、適正人材の確保、既存業務の見直しと効率化、財政の健全化に傾注してまいりました。

通所系のデイサービスや放課後等デイ、就労支援事業所等はサービス見直しやイベントの企画開催等、利用者満足度向上を図ることで稼働率を維持、また新規加算や上位加算取得に伴うサービス単価改善で収入部分を確保しました。しかしながら入居施設である介護老人福祉施設、グループホームみのりの里においては、昨年同様に入居待機者数が減少、退去から次の入居者が決定するまでに時間を要することがありました。その要因は、他社施設も同様に入居者・待機者確保に苦戦していることから、サービス付き高齢者住宅を含む米子市内の施設整備状況が充足していること、併せて在宅サービス事業者の重度者対応スキル・体制の整備により中重度者の在宅生活が維持しやすくなっていることが考えられます。

業務見直しと効率化については夜間業務を整理し、宿直制度を廃止しました。また鳥取県の行う生産性向上を目的とした伴走事業に、博愛会の特養を代表し第3介護課が参画、コンサル担当者にアドバイスをいただきながら、業務効率化モデルを確立することができました。令和7年度はそのスキームを特養全体に落とし込んでまいります。また5つあった専門委員会の内容を精査し4つに集約、構成メンバーも主任以上の少数精銳とし、議論の精度と現場への落とし込みを効果的に組み替えました。

令和6年2月に実施した組織改変について、特養2課長体制から4課長体制に現場管理を手厚くすることで、課長と職員個々が関わる機会が増え、個別指導が少しずつ叶ってきたこと、またキャリアアップを望む、また託したい職員を選任できたことで、将来に備えた人事異動も実施できました。また方針や指示の落とし込みについても、まだ完全とは言えませんが、少しずつ円滑になってきたと考えています。

令和7年度は利用者にとって更なる専門サービスの充実と、途切れのないサービス体制を実現していくため、介護保険の軽度者特化の半日型デイサービス「憩い処よらいや」、障がい者総合支援法の「グループホームときぞう」の新規事業開設、また複数事業所の連携を可能とする多機能施設「サテライトときぞう」の建設と、事業体制の拡大を図ってまいります。利用者ひとりひとりの特性に寄り添えるサービス事業を増やすことで、個々の状態に合ったサービスを選択していただけるようになります。引き続き法人内の多職種の連携を推進しながら、地域に必要とされる福祉事業所としての確立を目指します。

(1) 法人活動実績

実施した事柄	目的	成果	日付
入社式	法人理念の浸透	2名の入社	令和6年4月
一部の清掃活動参加	地域貢献	地域貢献	令和6年4月
事業計画運営方針説明会	法人事業計画の共通認識	各部門における適正な事業運営	令和6年4月
高校・介護福祉士養成校訪問	採用活動	学校、教師との関係作り	令和6年7月
大学、短期大学訪問	採用活動	学校、教師との関係作り	令和6年8月
七夕行事	部署間交流	高齢者、障がい児との交流	令和6年7月
高校生ボランティア受け入れ	地域交流、採用活動の推進	採用活動の推進	令和6年8月
オールジャパンケアコンテスト	介護技術の向上と参加者のモチベーションアップ	介護技術の習得	令和6年10月
法人監査	法人運営の適正化	指摘事項なし	令和6年11月
研修旅行	職員の親睦・交流	他事業所の職員との親睦・交流	令和6年11月～令和7年1月
博愛会忘年会	職員同士の親睦	93名の出席	令和6年12月
餅つき	季節の行事の実施	法人内全部署での交流	令和6年12月
互礼会	新年の挨拶		令和7年1月

(2) 評議員会・理事会・監査会・評議員選任解任委員会

項目	出席者	日付
決算監査会	監事2名	令和6年5月15日
理事会（第1回）	理事6名、監事2名	令和5年5月30日
定時評議員会	評議員7名、理事4名、監事2名	令和6年6月19日
理事会（第2回）	理事6名、監事2名	令和6年9月18日
理事会（第3回）	理事5名、監事2名	令和6年11月25日
理事会（第4回）	理事6名、監事2名	令和7年3月5日
中間監査会	監事2名	令和6年11月20日
評議員会（第2回）	評議員7名、理事4名、監事2名	令和7年3月19日

(3) 職員状況

ア 職員数：180名（令和7年3月31日現在）

イ 入職・退職について

令和6年4月1日～令和7年3月31日

部署	入職	退職	職員数 (3月31日現在)
介護老人福祉施設	6名	9名	72名
デイサービスセンター	5名	2名	29名
グループホームみのりの里		1名	16名
居宅介護支援事業所	1名		5名
米子市箕蚊屋地域包括支援センター	2名	1名	6名
みのかや運動処よらいや			2名
就労継続支援事業所あそしえA型		1名	13名
就労継続支援事業所あそしえB型	3名	3名	5名
すまいるステーションときぞう			11名
生活介護ときぞう	2名		5名
りんく			1名
本部	2名	1名	15名
計	21名	18名	180名

II 事業実績

1 高齢福祉部【介護老人福祉施設博愛苑】

(1) 活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
シャワーポッドアラ エル・床走行式リフ トの導入	業務の負担軽減。 入居者の清潔保持、 転倒防止	ミスト浴を導入しより効率 的な入浴支援を行う事で職 員の負担軽減が図れた。また 床走行式リフトも導入し 入居者の安全な移乗を行 う事で職員の腰への負担も軽 減され、両者にとって安心 したケアの実施が行えた。	令和6年3月
無資格者全員が認知 症基礎研修受講※	サービスの質の底上げ	全職員が介護の基礎知識を 習得できた。	令和6年3月

2024～有資格者配置が義務化			
勉強会の実施 (接遇・応対力、排泄、看取り、口腔ケア、BCP、)	サービスの質の向上	四半期に1回特養として勉強会を開催し、日頃のケアに活かしケアの質の向上を図れた。	四半期に1回実施。
入居者の誕生日会	入居者満足度向上	歌等でお祝いを行い入居者同士での会話のきっかけとなつた。	毎月実施。
食事、おやつ作り	入居者満足度向上 機能訓練	食事(ラーメン、カレー、餃子、うどん等)やお好きなおやつと一緒に作り食べることでやりがい・楽しみを持っていただけた。	年17回実施。
おやつバイキング	入居者満足度向上	好きなおやつを自ら選び、他者と一緒に食べることで楽しんでいただけた。	年4回実施。
外出行事	個別ケアの充実	入居者の気分転換。 担当職員の責任意識、企画力を学ぶことができた。	年15回実施
他部署との合同行事	職員の他部署間連携 関係構築	他部署間の交流をする事で職員の連携がしやすくなっている。	年4回実施。
GH 抹茶ボランティア	入居者満足度向上 地域交流	地域ボランティアとの交流を通じ、入居者が楽しんでいただき、また地域連携に向けた関係づくりを行っていく。	年2回実施。
敬老会 (長寿のお祝い)	入居者に生き甲斐を感じていただく	感謝とお祝いの意をお伝えし、喜んでいただく。	令和6年9月29日
高機能センサー付きベッド導入(9台)	入居者の転倒防止 業務負担軽減	入居者毎に合わせたセンタ一設定をすることで、必要時の訪室で対応できるようになった。	令和6年10月
フラワーアレンジメント	作業療法の充実を図る。	先生とのコミュニケーションも図りながら、お花を活ける楽しみを感じる事	毎月実施

		で、入居生活に楽しみを見 いだせた。	
コーヒー喫茶	他者と交流を図る。	他者との交流を行い、生活 にハリを持つことが出来 た。	年9回実施
忘年会・新年会	職員同士、また、職員 と入居者との親睦を 深める。	職員、入居者お互いの信頼 関係の構築に繋がった。	12月、1月 に実施。
選択メニュー	入居者の好みの食事 を提供し、苑での生 活に楽しみを持って いただく。	自己決定権の尊重に繋が った。	3か月に1回

(2) 退所状況

月	退所人数	退所理由
4月	1名	死亡
5月	2名	死亡
6月	2名	死亡
7月	2名	死亡
8月	1名	死亡
9月	5名	死亡・その他の医療機関
10月	3名	死亡
11月	4名	死亡・介護老人福祉施設入 所
12月	2名	死亡・その他
1月	4名	死亡
2月	3名	死亡
3月	2名	死亡

2 高齢福祉部【短期入所生活介護】

活動実績

短期入所生活介護の利用者については、介護老人福祉施設の行事に参加した。

職員については、介護老人福祉施設の研修や会議等に出席した。

3 地域福祉部【デイサービスセンター博愛苑】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
花見	季節を感じる催しに参加していただき、日常とは異なる体験をする事で楽しい時間を過ごしていただく	満足度向上 キャンセル予防	令和6年4月
スイーツバイキング		満足度向上 追加利用 7名	令和6年6月
ベリーダンス		満足度向上 追加利用 3名	令和6年7月
七夕祭り		満足度向上 追加利用 6名	令和6年7月
夏祭り		満足度向上 追加利用 4名	令和6年8月
敬老会		満足度向上 追加利用 5名	令和6年9月
秋の運動会		満足度向上 追加利用 5名	令和6年10月
スイーツバイキング	季節を感じる催しに参加していただき、日常とは異なる体験をする事で楽しい時間を過ごしていただく	満足度向上 追加利用 6名	
演劇鑑賞		満足度向上 追加利用 6名	
クリスマス会		満足度向上 追加利用 7名	
忘年会		満足度向上 追加利用 6名	
新年会		満足度向上 追加利用 3名	
節分		満足度向上 追加利用 5名	令和7年2月
バレンタイン		満足度向上 追加利用 5名	
演奏会		満足度向上 追加利用 4名	
春の運動会		満足度向上 追加利用 2名	令和7年3月

職種別会議	各職種の専門性を高める	専門サービスの見直し サービス品質の向上	各月実施
ホールレイアウト 変更	レクリエーション での一体感を作る	利用数が増えても、同じクオリティーのレクを実施	令和6年7月

季節ごとの行事には、すまいるステーションときぞうの子どもたちと合同で行事開催し、交流を深めることで地域とのつながりを感じていただけた。

4 地域福祉部【グループホームみのりの里】

(1) 活動実績 ※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
食事（主食）に十六黒米ともち麦を導入	日常の食事から食物繊維をはじめとした栄養面の支援	入居者の体調の維持管理に繋がった。	令和6年12月
GH七夕交流 カレーライス交流 ハロウィンイベント 芋ほり・焼き芋	季節行事を通して他部署との交流を行う。	心身機能の活性化につながった。	年4回開催
あじさいドライブ 紅葉ドライブ 初詣	季節を感じて、気分転換を行う。	気分転換と認知症の進行予防に繋がった。	年3回開催
米子美術館外出 公民館ふれあい発表会 外出	個人の嗜好にあつた外出先で気分転換を行う。	個人の嗜好に沿った外出支援が出来る。	年2回開催
フラワー アレンジメント	作業療法の充実	先生に花の名前を聞きながらコミュニケーションを図り、季節感を感じながら生活に楽しみを増やすことが出来た。	年8回実施
公民館祭作品見学 日本舞踊ボランティア 南京玉すだれボランティア 笑劇座ボランティア ハーモニカ演奏 アニマルセラピー	地域交流と気分転換を行う。	地域交流と入居者職員の笑顔に繋げることが出来た。	年7回
花火大会	季節行事を通して、	季節感を味わい、作業や運	年7回開催

柏餅づくり 敬老会 運動会 クリスマス会 餅つき 新年会	四季を感じてもらう事での気分転換を行う。	動を通して全身の運動に繋がった。	
誕生会	入居者に喜びを感じていただく。	入居者同士での会話のきっかけとなつた。	該当月に開催
認知症研修	認知症に対する知識の習得、向上で質の向上を目指す。	職員による資料作成と情報収集による新しい知識、正しい知識の習得を行い、ケアの質の向上に繋がつた。	年4回実施
看取り研修	看取りに対する知識と理解を深める。	生死感や職員の心構え、家族に対する対応を学び、今後の看取りケアに活かせる。	年2回実施

(2) 退所状況

月	退所人数	退所理由
4月	0名	
5月	0名	
6月	1名	博愛苑特養入所
7月	0名	
8月	0名	
9月	0名	
10月	1名	その他の医療機関
11月	1名	その他の医療機関
12月	0名	
1月	0名	
2月	0名	
3月	0名	

5 地域福祉部【居宅介護支援事業所】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付

箕蚊屋地域住宅介護支援事業所情報交換会	近隣住宅介護支援事業所との交流及び情報交換	近隣住宅のケアマネとの除法交換を実施し、各住宅の状況把握ができた。	令和6年6月
認定調査員現任研修（オンライン研修）	適切な認定調査を実施するため	各認定調査時に、判断基準に沿って認定調査が実施できた。	令和6年9月
鳥取県介護支援専門員連絡協議会 意見交換会	ケアマネジメント力のスキルアップ及びネットワーク作りのための他事業所との情報交換	ケアマネジメント力のスキルアップ及びケアマネジメント業務のスキルアップに繋げた。	令和6年7月、1月 令和7年2月
居住研修会（よなご暮らしサポートセンター事業・個別ケア会議）	ケアマネジメント力のスキルアップ	ケアマネジメント業務のスキルアップに繋げた。	令和6年10月 令和7年2月
近隣住宅介護支援事業所との連携	近隣住宅介護支援事業所とのネットワーク作り及び情報交換	近隣住宅介護支援事業所と情報交換を行い、次年度は博愛苑居宅が主催となり勉強会や意見交換を実施していくことに決定。	令和6年12月 令和7年3月

6 地域福祉部【米子市箕蚊屋地域包括支援センター】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
県地区地域ケア推進会議	包括の相談機関としての周知 関係者のネットワーク作り	回覧板や毎月の公民館たよりも活用し、少しずつ相談窓口としての周知につながっている。 地域の社会資源等についての情報共有ができた。	令和6年8月～ 計5回
巖地区地域ケア推進会議	除雪やごみ捨て等地域課題の検討	除雪機のリース、ごみ捨て場の24時間対応に関する政策を提言。	令和6年8月 令和6年11月
春日地区地域ケア推進会議	災害時における高齢者の避難想定を検討	各自治会での検討が行えた。福祉避難所の不足	令和6年8月

		について政策を提言。	
大高地区地域ケア推進会議	除雪や草刈り等地域課題の検討	除雪機のリース、草刈りボランティアについて政策を提言。	令和6年8月
地域ケア推進会議準備会	地域ケア推進会議の内容決定。	地域ケア推進会議開催	計6回
自立支援型地域ケア会議	自立支援に着目したケース検討会を行い、社会資源の確認や、地域課題を検討する。	訪問栄養指導の周知や拡充について政策を提言。	令和6年9月 令和6年12月
地域ケア個別会議	高齢者の個別課題を、関係者で協議する。	困難ケースを関係者が集まって協議することで、解決や情報共有を図ることができた。	計4回
居宅研修会(よなご暮らしサポートセンター事業)	地域における介護支援専門員の支援を目的とした事業説明会。	社会福祉協議会の事業説明を受け、困難ケースについて協議した。	令和6年10月
居宅研修会(個別ケア会議)	地域における介護支援専門員の支援を目的とした困難ケースの検討会。	地域住民も交えて、課題解決に向けて情報共有ができた。	令和7年2月
居宅情報交換会	地域における介護支援専門員のネットワークの活用	居宅、包括間で情報交換が行えた。	令和6年6月 令和6年10月
民生・在宅会議参加	地域の高齢者の情報共有を図り、包括の周知につなげる。	民生委員、在宅福祉委員から相談が増え、情報共有の機会が増えた。	計8回
運営推進会議参加	地域密着サービス事業者のサービスの質を確保することを目的として、包括支援センターが構成員となっている。	他事業所の取り組みや地域の情報を伝えていく。	計22回
物忘れ相談プログラムの実施	「タッチパネル」で物忘れ検査の実施。	認知症の相談機関としての周知につながった。	計5回
高齢者疑似体験・絵本教室	小学生を対象に、認知症の啓発活動を行う。	小学生対象で認知症サポーター養成講座を行	計5回

		った。	
公民館祭	「タッチパネル」で物忘れ検査の実施。	認知症の相談機関としての周知につながった。	計5回
サロン活動支援	サロン活動の支援を行い、サロン継続を図る。	社会福祉協議会、健康対策課と協力しながら活動支援を行っている。	計21回
地域サポーター支援	サロン活動が円滑に進むよう支援する。	活動内容の検討や、講師派遣により、支援につながった。	計4回
地区講座	各公民館の健康講座と介護予防講座の実施。	地域住民への介護予防の啓発、包括の周知につながった。	計7回
やって未来や塾	サロン支援の一環として、運動指導の講師派遣を行う。	同行訪問し、支援につながった。	計6回
リモート運動体験	フレイル対策課からの委託事業として、運動の見守り、介護相談受付。	介護相談につながることもある。	計15回
何でも健康相談会	健康対策課の地区担当保健師と、各公民館で出張相談を行う。	本人、家族からの相談につながっている。	計42回
米子医療センター実習	看護実習生の支援	6名(2人1組×3日間)実施。	令和6年4月～6月
米子市センター会議	長寿社会課と各センターで毎月会議を行う。	情報共有、協議を行っている。	計12回
総合相談部会	困難事例の検討と、総合相談に関する共有や検討。	困難事例の共有・検討、身元保証人がない方の対応について検討。	計10回
地域ケア会議部会	自立支援型地域ケア会議の運営方法等を検討。	会議開催方法の検討や、実施後の情報共有を行った。	計5回
研修部会	主任ケアマネージャーや包括職員を対象とした研修会の実施。	職員の資質向上につながった。	計6回
認知症初期集中チー	認知症または疑いの	対応方法について専門	計9回

ム員会議	ある方の初期対応を 関係者で協議する。	職も交えて協議した。	
法人内・法人外研修参 加	研修で得た学びを業 務に活かす。	全職員が研修を受け、資 質向上につながった。	計 33 回

7 地域福祉部【みのかや運動処よらいや】

活動実績 ※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
広報活動（パンフレット、チラシ配布）	地域の皆様に施設を 知っていただき、新規利用者に繋げる	各公民館、近隣事業所等に配布し、年間37名の新規入会に繋がった	令和6年4月、7月、9月、10月、12月 令和7年2月
外部への体操講師派遣	地域貢献 地域住民の健康増進をお手伝いする	6件の講師依頼があり、公民館、集会所で実施し、利用者増へ繋がった。	令和6年4月、7月、9月、10月、令和7年2月
会員向けイベント	会員の満足度向上に繋げる	会員の運動意欲や満足度向上に繋がった。	令和6年4月～12月（毎月実施）
専門職による講話	フレイル予防対策の一環として実施 会員の満足度向上や、将来の介護保険サービス利用（法人内他事業所）へのスムーズな移行に繋げる	専門的な知識を学ぶことで参加者の満足度が向上した。介護保険サービスを身近に感じていただくことが出来た。	令和6年12月 令和7年2月
満足度調査アンケート	ご利用者様の声を受け取り、サービス内容の見直し、改善を行う。	対象者78名。回答率93%。利用者の声を受け取りサービスの改善を行った。	令和6年12月
法人ホームページブログ、インスタグラム記事投稿 法人広報誌記事掲載	利用者や地域住民へ、日々の活動報告やお知らせ等を発信する	定期的な情報発信により、利用者の満足度向上に繋がった。	毎月2回ブログ更新 毎週木曜日インスタグラム記事投稿 令和6年6月、9月、12月、令和7年3月発行

8 障がい福祉部【就労継続支援事業所あそしえ A型】

活動実績 ※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
利用者への一般就労を目指した研修	一般就労への移行を目指して、ビジネスマナーを身に着ける。	利用者の特性に合わせて研修を実施した。4月から法人内の特養に1名移行した。	月1回
あそしえA型・B型合同職員会議	A型・B型事業の情報と課題の共有を行う。	A型・B型の情報共有をすることでお互いの職員が協力して事業を進めることができるようにになった。	月1回

9 障がい福祉部【就労継続支援事業所あそしえ B型】

活動実績 ※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
芋製品の品質向上	芋製品の品質向上を行い、利益を出し、工賃向上を行う。	鳥取県農山漁村発イノベーションサポート事業を活用し、干し芋と芋のスイーツの専門員に指導を受けた。そのこともあり、売り上げを向上させることにつながった。	月1回
芋製品の販売	販売を通して、他の事業所との交流を行う。	法人に出の販売や他高齢者事業所の訪問販売を行った。利用者同士が顔なじみになり自然な環境での交流を行えた。	週2回
地域のイベントへの出店	販売を通して、利用者の社会参加を行う。	地域の公民館祭やイベント、スーパーでの出店を行った。地域住民から覚えてもらい声をかけられる喜びと商品が売れる喜びを感じることが出来た。	月1回

10 障がい福祉部【放課後等デイサービスすまいるステーションときぞう】

活動実績 ※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付

他事業所交流 (餅つき体験・ネギの収穫体験・カヌーBBQ・流しそうめん・谷川散策・ミニ運動会)	他事業所と交流する事で利用者同士、職員同士が刺激を受け今後の活動に活かす事が出来る。	N P O 法人いるかと交流した。 利用者をチーム分けして、特性に合った活動を提供了。そのことで一人ひとりが役割を持つことができ、活動の幅が広がった。	令和6年度長期休暇中
他部署交流	G H・D S・特養との交流	長期休暇の活動として、G Hとのクッキング、D Sとの運動会の交流を行った。また、感染に配慮しながら特養への訪問も行い、子ども達と、高齢者の関りの中で双方の沢山の笑顔を見る事が出来た。	令和6年

1.1 障がい福祉部【生活介護ときぞう】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
調理実習	計画、買い物、調理、片付けまでを利用者と一緒にを行い、生活力の向上を行う。また、他部署との交流もおこなう。	利用者が食べたいものなどを計画することで、自ら調理に関わり楽しみながら生活力の向上につながった。	月2回
外出支援 (がいなロード、お花見、アート展など)	行き先などの計画を利用者と一緒に、生活力、社会の向上を行う。	利用者の行きたいところに行きたいこともあります。利用者の満足度向上と利用予定日でない人も参加するなど楽しみの提供ができた。	月2回
養護学校の学生の実習受け入れ	学校卒業後の進路の1つとして事業所の情報提供を行う。	令和7年4月から2名の利用が決定する。	年4回

1.2 障がい福祉部【相談支援事業所りんく】

活動実績

※会議や研修及び勉強会、行事、導入した物等

実施した事柄	目的	成果	日付
--------	----	----	----

他の相談支援事業所と協同して事業を行う仕組みづくり	相談員同士の相談や状況共有が出来る環境整備を行う	5月から4事業所で協同して事業を行う体制を整備した。週1回の情報共有の会議と困難な事例検討を相談員の質を高めることができた。	週1回
自立支援協議会相談支援の充実を図る会に参加	新設事業所などの情報収集と事例検討を行い、支援の充実を図る。	米子市の相談支援の現状、福祉サービスの状況の把握。困難事例の対応により、支援に対する考え方の幅が広がった。	月1回

IV 事業報告の付属明細書

令和5年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しておりません。